コンピュータ演習 第5回

今回のテーマは「**ウェブの最新事情、情報モラル**」です。

- インターネットは良い面として、ウェブの最新状況を説明します。
- インターネット上でのトラブルを避けるための、マナーやルールについて説明します。

連絡事項

授業では、eラーニングのシステムを利用します。出席の確認や、課題の提出などに利用します。

- アドレス: http://elearn.humans.hyogo-dai.ac.jp/moodle/
- 自宅からでもアクセス可能です

今回の内容

1. ウェブの最新事情
    - ウェブ上のコミュニケーション
    - ウェブ上での新しいサービス
2. 情報モラル
    - 情報モラルの説明
    - ビデオの視聴と小テスト

今回の課題

- 課題: ビデオの感想文

ウェブの最新事情

コミュニケーションの手段としての「ウェブ」

近年、ウェブを利用した、さまざまな情報発信が盛んに行われています。ウェブでの情報発信をとおして、情報が共有され、実社会に影響を及ぼすこともあります。

- 掲示板（BBS）
  - 2ちゃんねる（http://www.2ch.net/）、Yahoo!掲示板（http://messages.yahoo.co.jp/）等
- ブログ（Blog）
  - アメーバブログ（http://ameblo.jp/）、ココログ（http://www.cocolog-nifty.com/）、livedoor Blog（http://blog.livedoor.com/）、はてなダイアリー（http://d.hatena.ne.jp/）等
- SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）
  - mixi（http://mixi.jp/）、GREE（http://gree.jp/）、ひょこむ（http://hyocom.jp/）、Facebook（http://www.facebook.com/）
- 個人の「つぶやき」による「ゆるい」コミュニケーション
  - Twitter（http://twitter.com/）

みんなの意見／口コミが新しい情報に

ネット上にある大勢の情報が結びつき、流行や最新情報を把握することもできます。

- ソーシャルサービス
  - はてなブックマーク（http://b.hatena.ne.jp/）、Delicious（http://delicious.com/）、digg（http://digg.com/）
- 人力検索（Q&Aコミュニティサイト）
  - OKWave（http://okwave.jp/）、人力検索はてな（http://q.hatena.ne.jp/）、発言小町（http://komachi.yomiuri.co.jp/）等

サービス＋サービス＝新しいサービス

検索を中心に複数のサービスを組み合わせた、新しいサービスが数多く生まれています。

- ポータルサイト（検索を中心に多様なサービスを提供するインターネットの入り口となるWebサイト）
  - Yahoo! JAPAN（http://www.yahoo.co.jp/）、百度（Baidu）（http://www.baidu.jp/）
  - So-net（http://www.so-net.ne.jp/）、@nifty（http://www.nifty.com/）、BIGLOBE（http://www.biglobe.ne.jp/）、NTTぷらら（http://www.plala.or.jp/）、eo（http://eonet.jp/）
- 地図+α（ルート検索、写真、地形、グルメなどの情報の付加）
  - Googleマップ（http://maps.google.co.jp/）、Yahoo!地図（http://map.yahoo.co.jp/）
  - ALPSLAB（http://www.alpslab.jp/）、Map Fan Web（http://www.mapfan.com/）

個人のデータをみんなで共有

個人が所有している、写真や動画を、手軽に共有する手段が登場しています。

- 写真アルバム／共有
  - Flickr（http://www.flickr.com/）
  - Picasaウェブアルバム（http://picasaweb.google.co.jp/）
  - フォト蔵（http://photozou.jp/）

- 動画共有
  - YouTube (http://www.youtube.com/)
  - ニコニコ動画 (http://www.nicovideo.jp/)
  - Ustream (http://www.ustream.tv/)

情報モラル

インターネットの「光と影」

パソコンやインターネットが普及したおかげで、多くの人とメールのやり取りができたり、世界中の商品を簡単に購入できたり、Webを使ってコミュニケーションができたり、私たちの生活は豊かになりました。

その反面、**ささいな書き込みがトラブルに発展**したり、**メールを使ってお金を騙しとる詐欺**など、インターネットの世界はトラブルや危険と隣り合わせでもあります。

自動車社会で法律や交通ルール・マナーが必要なように、情報化社会でも、パソコンやインターネットを安全に利用するために、**利便性**と**危険性**、そして**ルールやマナー**を理解する必要があります。このような考え方を「**情報倫理**」といいます。ネットワークを利用する人たちがお互いに快適に利用するために、守ってほしい考えです。

情報モラルのビデオの視聴

「情報倫理デジタルビデオ小品集3」というビデオを見て、インターネットの安全性やマナー・モラルについて学習します。

- 制作･著作権:独立法人メディア教育開発センター

ビデオの内容

ビデオは、8つのパートで構成されており、全部で30のテーマに分かれています。大学生の日常生活や学生生活に関連するテーマを中心に、ドラマによる事例と対策を紹介しています。

今回は、その中から、次の内容に絞って視聴します。（時間の都合により、すべて視聴しない可能性があります）

- ネット上でのコミュニケーション
  - 15. SNSについた謎のコメント
  - 17. 匿名掲示板の荒らしはスルー
  - 21. 巧妙になったワンクリック詐欺
- ネットを活用した学習
  - 26. 喧嘩にならないオンライン議論
  - 27. Web貼りつけのレポートはNG
  - 28. レポートのズルはデンジャラス

ビデオに関する小テスト

ビデオの内容を確認するために、ビデオに関する、簡単な小テストを行います。3択問題で、全部で12問あります。

第5回の課題

ビデオの感想

課題の内容

今回の授業で見た、ビデオの感想を書いてください。

感想文は、次の3つの構成で書いてください。（文字数は全体で400文字以上）

- **興味を持ったテーマを「1つ」あげて、その理由を書く**
- **興味の持てなかったテーマを「1つ」あげて、その理由を書く**
- **全体についての感想を書く**
    - **ビデオの内容について、共感したり自分の意見があれば書く**
    - **自分でも何か体験していれば、それについても書く**

課題の提出

小テストのプリントの裏側に、手書きで書いてください。読みやすいように、**きれいな字でなくても良いので、丁寧に書くこと**。

提出期限

- **今回の授業終了までに、教員またはSAに提出すること**